



セグメントルーティングと IS-IS プロトコル

- [IS-ISについて（1ページ）](#)
- [IS-ISプロトコルでのセグメントルーティングの設定（1ページ）](#)

IS-ISについて

IS-ISは、ISO（国際標準化機構）/IEC（国際電気標準化会議）10589およびRFC 1995に基づくIGP（内部ゲートウェイプロトコル）です。Cisco NX-OSは、インターネットプロトコルバージョン4(IPv4)およびIPv6をサポートします。IS-ISはネットワークトポロジの変化を検出し、ネットワーク上の他のノードへのループフリールートを計算できる、ダイナミックリンクステートルーティングプロトコルです。各ルータは、ネットワークの状態を記述するリンクステートデータベースを維持し、設定された各リンクにパケットを送信してネイバーを検出します。IS-ISはネットワークを介して各ネイバーにリンクステート情報をフラッディングします。ルータもすべての既存ネイバーを通じて、リンクステートデータベースのアドバイザリーズメントおよびアップデートを送信します。

IS-ISプロトコルでのセグメントルーティングは、次をサポートしています。

- IPv4
- レベル1、レベル2、およびマルチレベルのルーティング
- プレフィックス SID
- ドメインボーダーノード用の同じループバックインターフェイス上の複数のIS-ISインスタンス
- 隣接関係用の隣接関係 SID

IS-ISプロトコルでのセグメントルーティングの設定

セグメントルーティングはIS-ISプロトコルで設定できます。

IS-IS プロトコルでのセグメントルーティングの設定

始める前に

次の条件が満たされると、IS-IS セグメントルーティングが完全に有効になります。

- **mpls segment-routing** 機能が有効になっていること。
- IS-IS 機能が有効になっていること。
- セグメントルーティングが、IS-IS の下で少なくとも 1 つのアドレスファミリに対して有効になっていること。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	router isis instance-tag	instance tag を設定して、新しい IS-IS インスタンスを作成します。
ステップ 3	net network-entity-title	この IS-IS インスタンスに対応する NET を設定します。
ステップ 4	address-family ipv4 unicast	アドレス ファミリ設定モードを開始します。
ステップ 5	segment-routing mpls	<p>セグメントルーティングを IS-IS プロトコルで設定します。</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> • IS-IS コマンドは、IPv4 アドレス ファミリでのみサポートされます。IPv6 アドレス ファミリではサポートされていません。 • SR プレフィックスの他のプロトコルから ISIS への再配布はサポートされていません。すべてのプレフィックス SID インターフェイスで ip router isis コマンドを有効にする必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。